

(9) ドンコ (スズキ目ドンコ科)

① 分布

最上流域及び最下流域を除く全集落

② 主に見られた場所

川, 水路, 池

③ 採録した呼び名

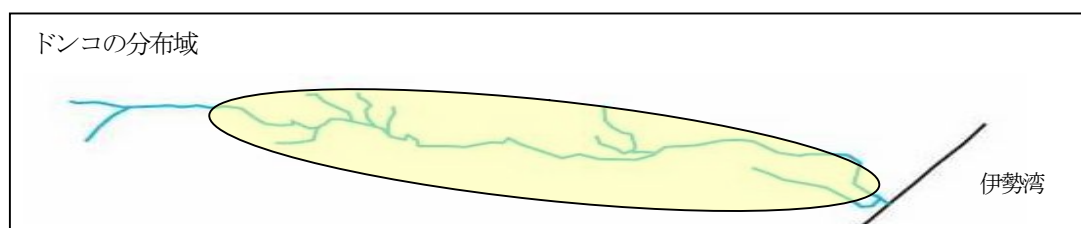
- ・ 一般 ドモンコツ, ドモンショ, ドンコ, ドンコツ
- ・ その他 ニシャ, ニシャカマ, ニシャンペ (ヨシノボリ類との混称)

④ 分布と呼び名について

上流域から下流域にかけての川や水路のほか, 池の水を抜いた時 (池こね) などに見られたという。

呼び名としては, 標準和名である「ドンコ」をはじめ, ヨシノボリ類との混称を含め計 7 種採録した。

主として「ドンコ」と呼ばれるとともに, 多くの集落でヨシノボリ類の大型魚としてみなされたようでもあり, 多くの集落でヨシノボリ類との区別ははっきりとされていなかったとも考えられる。



⑤ その他

20cm 近くなる大型魚で, 比較的簡単に素手で捕まえることができることから, ヨシノボリ類との混称となっても分布の有無がわかりやすい。

なお, 姿が似たカジカの情報は特に得られなかった。

(9) -2 ヨシノボリ類 (スズキ目ハゼ科)

① 分布

流域の全集落

② 主に見られた場所

川, 水路, 池など

③ 採録した呼び名

- ・ 体色 クロンチョ
- ・ 石の上の姿 イシコツ, イシモツ
- ・ その他 カジカ, ガンチョ, ガンチョババ, ガンパ, シタバヨ, ニシヤ, ニシヤツペ, ニシヤカマ, ニシヤンペ, ハゼ
- ・ ドンコとの混称 ドモンコツ, ドンコ, ドンコツ



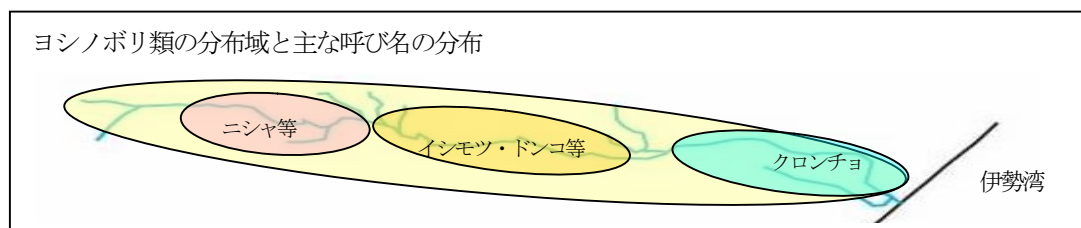
④ 分布と呼び名について

流域全域の川, 水路, 池などでよく見られたという。

呼び名としては, 体色, ハゼに似た形態, 吸盤で石を持つような姿, 川底を這うように動くことなどから集落により多様な呼び名があるとともに, ドンコとの混称を含め計16種採録した。

下流域では汽水域に生息する黒色のチチブ類とみられる魚と併せて「クロンチョ」と呼ばれるとともに, 中流域では「イシモツ」「ドンコ」, 上流域では「ニシヤ」という呼び名が中心となった。また, 最上流域では「カジカ」「ガンチョ」などと呼ばれ, 鈴鹿川の影響とみられる。

なお, 上中流域ではドンコも含めた呼び名となる傾向にあり, 流域全体としても両魚種の区別ははっきりとされていなかったとも考えられる。



(10) モクズガニ (甲殻類エビ目イワガニ科)

① 分布

流域の全集落

② 主に見られた場所

川, 水路, 池

③ 採録した呼び名

- ・ ハサミの毛 ケガニ
- ・ 秋に川を流下 オチガニ
- ・ 新月の時 ヤミガニ
- ・ その他 ズガニ, マカズ, ヤマソ, ヤマソガニ

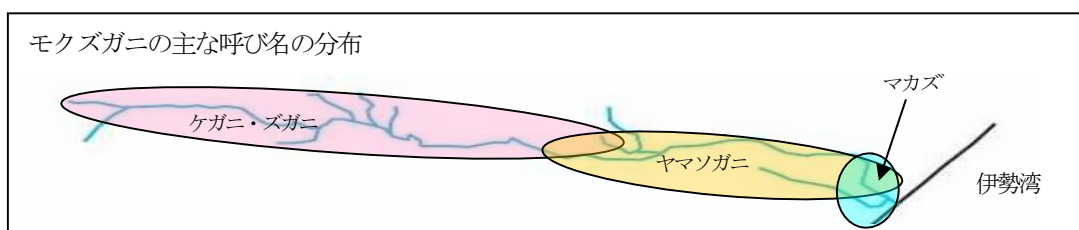


④ 分布と呼び名について

流域全域の川, 水路, 池で見られたという。

呼び名としては, 大きなハサミを持つ手に毛が生えているという特徴や, また秋に川を下ることから名付けられたものなど計7種採録した。

呼び名の分布は上中流域において「ケガニ」「ズガニ」, 下流域において「ヤマソガニ」「マカズ」と大きく分かれる。



⑤ その他

中ノ川でとりわけ多く取れると評判で, 現在でも秋の彼岸花が咲く時期 (9月下旬頃) になると海へ下るモクズガニを取るためのカニ籠が多く仕掛けられる。

(10) -2 サワガニ (甲殻類エビ目サワガニ科)

① 分布

流域の全集落

② 主に見られた場所

川, 水路, 湧水, 水の染み出しなど

③ 採録した呼び名

- ・ 共通 カニ (全集落)
- ・ 生息地 サワガニ, ミゾガニ
- ・ その他 ガニ, コガニ, ザルガニ, ドタガニ, ヤドガニ

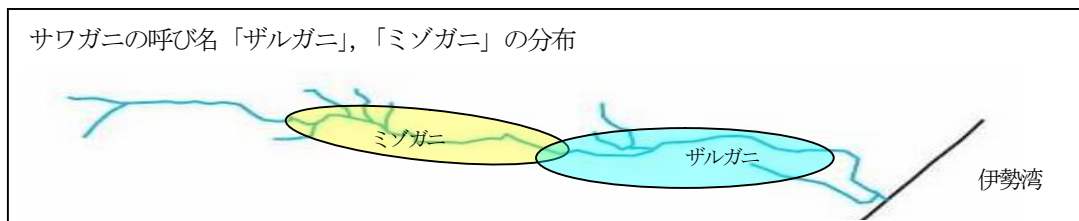


④ 分布と呼び名について

流域全域の川, 水路, 湧水地のほか, 清水が染み出す所などでよく見られたという。

呼び名としては, 一般的な「カニ」を全域から採録したのをはじめ計8種採録した。

「ガニ」と濁った呼び方もほぼ全域で使われたものと考えられるほか, 「ザルガニ」という呼び名が中下流域で, 身近な溝川でよく見られたことから名付けられたと考えられる「ミゾガニ」が中流域で, また大きなモクズガニに対しての呼び名と考えられる「コガニ」などが採録された。



⑤ その他

かつては夕立などがあると、多くのサワガニがよく水路から道へ姿を現したという。

(10) -3 スジエビ・ヌマエビ (甲殻類エビ目テナガエビ科・ヌマエビ科)

① 分布

流域の全集落

② 主に見られた場所

川, 水路, 池, 田 (水戸) など

③ 採録した呼び名

- ・ 共通 エビ (全集落)
- ・ 生息場所 カワエビ, ミトエビ
- ・ その他 モエビ, ハシカエビ



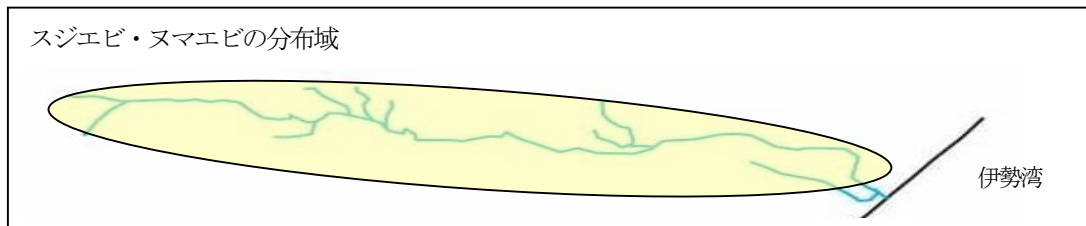
④ 分布と呼び名について

流域全域の川, 水路, 池, 田などでよく見られたという。

呼び名としては, 一般的な「エビ」を全集落から採録したのをはじめ計5種採録した。

よく見られた生息場所から「カワエビ」, 「ミトエビ」, また手触りから「ハシカエビ」などと呼ばれた。

「カワエビ」, 「モエビ」という呼び名は流域を通して, 散発的に採録された。



⑤ その他

水戸下にいるエビなどを「ミトジャコ」と呼ぶ集落もあった。

(10) -4 テナガエビ類 (甲殻類エビ目テナガエビ科)

① 分布

中流域から下流域にかけての集落

② 主に見られた場所

川, 水路

③ 採録した呼び名

- ・ 体の特徴 アシナガエビ, テナガエビ
- ・ その他 タナカエビ, タナカセエビ
- ・ スジエビ等との混称 エビ



④ 分布と呼び名について

下流域を中心として, 中流域にかけての本川などで見られたという。

呼び名としては, 「タナカエビ」, 「タナカセエビ」など固有のものを4種採録するとともに, スジエビとの混称を含め計5種採録した。

体の特徴から「アシナガエビ」, 「テナガエビ」と呼ばれたりしたとともに, 上流域になるに従い生息数が少なくなるため固有の呼び名はなくなり, スジエビなどとの混称となる傾向にあった。

